

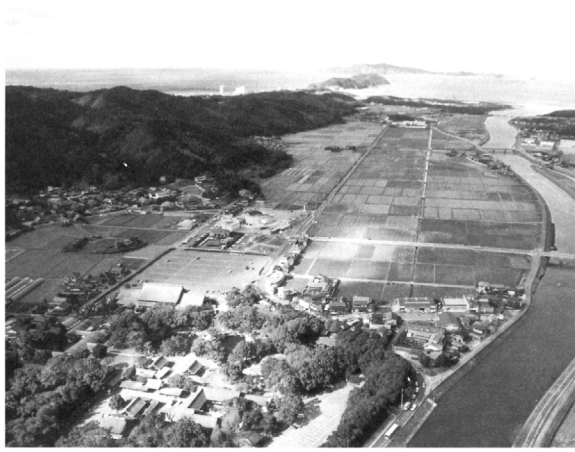


毎月十五日発行
宗像大社
〒811-385 福岡県宗像市田島
電話 0940-62-1311代
http://www.munakata-tasha.co.jp
定価 一年送料共 1000円

宗像市の宗像大社に

「宗像市」・「玄海町」合併により

人口 119,300 人



宗像大社上空より玄界灘を望む

四月一日、福岡県内における市町村合併特例法による第一号としての「宗像市」と「玄海町」が合併した。双方の合併協議会が発足したのは平成十二年。以来、様々な問題を調整しながら平成十五年四月一日に向けて準備を進めてきた。宗像市はJR鹿児島本線が市域を横断し、東郷・赤間・教育本前駅という三つの駅を有し、

国道三号線も走り、交通の利便性が高い。その為昭和四十年代にのり田、自由ヶ丘団地のなどの大型団地が相次いで建設され、以来急速に住宅都市へと発展してきた。また「国立福岡教育大学」、「東海大短期大学」、「近年開校した「日本赤十字九州国際看護大学」と教育面で充実し、「むなかたりサーチパーク・アステイニ

一」などの学術拠点や、「宗像ユリックス」を中心とした生涯学習、地域ネットワークも活発に展開されている。また「グローバルアルアリーナ」をはじめ公園やスポーツ施設も整い、国際級のイベントも行われている。一方玄海町は、我が国最古の神社の一つである、「宗像大社」、弘法大師開創と伝える古刹、真言宗御室派別格本山「鎮国寺」といった歴史的名刹寺、「日本の白砂青松百選」、「福岡県森林百選」にも選ばれた「さつき松原」をはじめとした豊かな自然。そして西日本でも屈指の水揚げを誇る「鐘崎漁港」があり、玄界灘の海の幸が豊富である。この歴史・自然・海の幸には多くの観光客が集まる。「お互いに無いものを補う」そんな理想的な合併が、今回の合併である。

だが、これほどスムーズにいく合併もめずらしい。関係者の尽力配慮もさることながら、そこには元来宗像市・郡は一つだったという



初洋楽コンサート「春の調」開催

四月十三日(日)当大社拜殿で、クラシックコンサート「春の調」が行われた。国指定の重要文化財である本・拜殿では、神楽等の邦楽は奉納演奏しているが、管弦楽等の西洋楽器による奉納演奏は初めてのことで、当大社では昭和三十一年から宗像市・郡内の中学校、現在十校出身者に、各校男女二名ずつ奨学金を支給してきた(今年度で第四十四期生)。平成十二年から、北九州市の医療機器会社の会長である荒井龍雄氏に御賛同を賜り、平

歴史的背景もある。現在でもこのように「神郡宗像」という言葉が使われるように、往時は現在の宗像市・郡をはじめ遠賀郡・鞍手郡や福岡市の一部までもが神郡域であったという背景がある。宗像大社としても、宗

像の宗像大社」となったことで、全国の崇敬者の皆様には認知していただきやすくなった。が、周知の通り当大社は沖津宮(大島村)、中津宮(宗像市)の三宮に「宗像三女神」を奉斎している。新たな合併により、総社である辺津宮は宗像市、沖・中津宮はまだ宗像郡大島村である。宗像市章は宗像市、沖・中津宮はまだ宗像郡大島村である。併せにより、総社である辺津宮は宗像市、沖・中津宮は宗像郡大島村である。併せにより、総社である辺津宮は宗像市、沖・中津宮は宗像郡大島村である。

成十二年当大社から新たに「宗像大社荒井奨学金」を設け、「宗像大社奨学金」と併せて支給している。その荒井会長が「奨学生ら子供達に音楽を」と、今回のコンサートが開催された。演奏した北九州市の「北九州オペラ管弦楽団」を母体とする「響ホール室内合奏団」の面々も緊張した様子で早朝に本社し、何度も入念にリハーサルを行った。午後一時三十分が荒井会長来社し正式参拝。修祓後、宗像大社巫女が「浦安舞」を舞い、箏・三味線・太鼓、歌で奏する優雅な邦楽に、詰め掛けた参拝者も見入っていた。続いて会長・合奏団代表が玉串を捧げ正式参拝は終了した。

「和と洋」邦楽と洋楽。「神楽とクラシック」の演奏に十二分に満足した様子で、是非毎年開催してほしいとの要望もあり、初めての試みは大成功であった。管弦楽演奏曲目は次の通り
コンチェルトグロツツ
二長調OP.六一五
日本の春の歌メドレー
さくらさくら
荒城の月
春が来た
モーツァルト
ディベルティメント
変ロ長調Kv.一三七

神具・装束
結婚式場用品
福岡店 福岡市博多区東公園一十二番二号
電話 福岡 093-651-1945 六番
本店 京都市下京区油小路六条北入一(御室)
電話 京都 075-343-3343 四番

木組の家
匠の技
総建設業 株式会社 弘江組
事務所 〒816 福岡県宗像市大字福元 〇二五
電話 〇九四〇三二二一五六七

御礼
春季大祭齋行に際しましては、皆様方より真心からなる御協賛を賜り厚く御礼申し上げます。お蔭をもちまして、祭典も無事厳粛裡に齋行することができました。ここに紙面をかり、謹んで御礼申し上げますと共に、皆様方の益々の御繁栄を心よりお祈り申し上げます。
宗像大社 社務所

日本刀、その魅力はわが国だけが持つ独得なものである。本質は武器であるが、生命を賭して用いる事を旨とした機能美から出発したもので、その鍛錬の技術は少しいの妥協も許されない。刀剣の持ち味を活かすのは研磨であり、その工程は十数段階にも及び、研師が秘伝と称し、刀身の地鉄、刀文に光沢をつけ美しく調和のとれた色調に整えるために行う高度な技法である。刀剣は武器や美術品と言っような観念論以前に、権威の象徴や信仰の対象でもあつて、社寺に奉納する風習は永く伝えられ、全国に多くの刀剣が御神体や宝物として伝世されている。又、御神刀として代表的な神宮の式年遷宮毎に当時の姿を踏襲し製作奉納されている剣もある。後世の奉納刀とは異なり、神財物と言われ、神の日用具として差し上げる性格のものである。当社沖ノ島古代祭祀跡から、どの遺跡にも及ばない程の大量の刀や剣が発見されている。これは当時最も重要な海北道中の守護神であった宗像大神の御神格が然らしたためである。初めて大陸から持たされた青白く光る鉄の武器を見た日本人は、剣に怪しむ人を魅了する利器としてのイメージを持ち、それが昇華されて神と結ばれると言ふ事を考えた。
(T・U)

春季大祭齋行



新「宗像市」施行初日となった四月一日、当大社恒例の春季大祭が斎行された。

この祭りは、江戸時代に書かれた『宗像事蹟考』に、「四月朔日、御作礼祭」とあり、この日に物社政所社で、農作の神事が行われた伝説を継ぐもので、春の農耕の始めを祈る祭典である。

戦前は、四月中旬に中祭式で行われていたが、戦後の四大祭の設置によって、祈年祭と合して大祭式にて執り行われていた。

同時に祭典の期間中は神宝の虫干しをかねて境内に展示、参拝者に公開され、祭典に色を添えていた。

また、昭和天皇御即位大嘗祭の際、福岡県脇山村に主基齋田が卜定されたことを記念し

てつくられた「主基地方風俗舞」。この舞は、門外不出が原則とされているが、特別な思召しを以て当大社に御下賜され、永久に保存することにとつとめて、この「春祭」を「保存会」と云つて親しまれてきた。

現在でも、咲き匂う桜花の下で、神宝を拝した想い出を語られる方が数多い。

三月二十九日 大祭を迎えるにあたり、地元総代並びに協力会の奉仕で、早朝から参道の幟立て・各殿舎の紫幕張り・注連縄の張り替え・紙垂の付け替え等の諸準備作業が行われた。

三月三十一日 午後五時神職二名の奉仕で、本殿脇に鎮座

以降特別の思召しを以て当大社に唯一伝承保存されている。春秋の大祭時に奏され、時期になるとそれぞれ仕事を終えた保存会員が、当大社で温習を行ってきた。当日は舞方四人の中に二十代の若者が二人入り、躍動感ある若々しい舞を披露した。

御奉仕いただいた方は次の通り。(敬称略)

舞方 中野 正徳
吉武 倫彦
清水 陽介
深田 龍介
歌方 津津 典秀
吉田 敏幸
岩佐 洋一

続いて、地元玄海中学校の女生徒四人が十二単を身に纏い、優雅な「浦安舞」を奉納した。この神楽は昭和十六年の皇紀二六〇〇年奉祝の際に祭祀舞として制定され、全国各地の神社で奉納されている神楽であるが、十二単を身に纏つて正式に舞うのはなかなか目にする事は出来ない。

当日浦安舞を奉納した玄海中学校女生徒四人は、当大社巫女三月の指導を受ける為、三月の導入と放課後後社社温習に励んだ。その成



果である美事な舞を御神前に奉納した。

毎年春・秋大祭時に同校二年の女子四人に浦安舞を奉納いただいているが、学校側もそのすばらしさに理解を示し、一昨年から同校の文化祭でも奏されている。春の大祭で初めて舞つた生徒達であったが、秋の大祭ではさらに磨きのかかった舞を奉納してくれることであろう。

御奉仕いただいた玄海中学校二年生は次の通り。

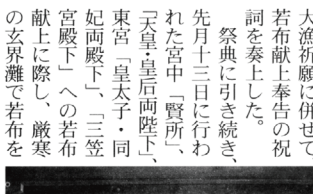
花田 千晶
木藤 麻子
鎌瀬 芽衣
鎌瀬 芽衣

果である美事な舞を御神前に奉納した。

毎年春・秋大祭時に同校二年の女子四人に浦安舞を奉納いただいているが、学校側もそのすばらしさに理解を示し、一昨年から同校の文化祭でも奏されている。春の大祭で初めて舞つた生徒達であったが、秋の大祭ではさらに磨きのかかった舞を奉納してくれることであろう。

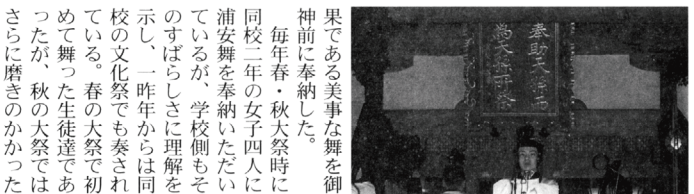
御奉仕いただいた玄海中学校二年生は次の通り。

花田 千晶
木藤 麻子
鎌瀬 芽衣
鎌瀬 芽衣



大祭二日目は雨の降りそうな曇空であった。大太鼓の音が神域にこだました。太田宮司が海上安全・大漁祈願に併せて、若布献上奉告の祝詞を奏した。

祭典に引き続き、先月十三日に終わった宮中(賢所)・天皇・皇后両陛下上、東宮(皇太子)・同妃(皇后)への若布献上に際し、厳寒の玄界灘で若布を



が同時に斎行された。宗像護国神社では、宗像市・郡内の遺族百余人、県遺族会連合会長小山県議会議員をはじめ、各市町村長・同議会議長、当大社氏子総代等多数参列し、護国の英霊をお慰め申し上げた。

同時刻、儀式殿では宗像大社交通安全講員が参集し、「交通安全講話」が斎行され、講員各位の交通安全を御祈念申し上げた。

午後二時からは、「南坊流献茶祭」が斎行され、日頃南坊流小方社中の御指導を受けている巫女達が、袱紗さばきも鮮やかに御点前を披露し、香しい濃茶が御神前に捧げられた。

一方大祭期間中数々の神賑行事も催された。折願殿一階ロビーでは、当大社巫女による「池坊流生け花展」が開催され、春の花をあしらった約二十点の作品を展示。

二階ロビーでは「橘の葉絵」による油彩画作品展が開催され、やはり春に相応しい作品三十点が展示され、訪れる参拝者の目を惹きました。

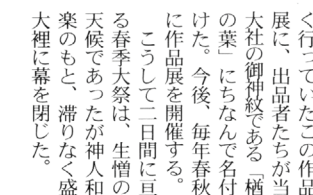
この「橘の葉絵」の名称は、昨年まで福岡・玄海町の絵画教室が合同で名称もなかつていたこの作品展に、出品者たちが当大社の御神紋である「橘の葉」にちなんで名付けた。今後、毎年春秋に作品展を開催する。こうして二日間に亘る春季大祭は、生憎の天候であったが神人音楽のもと、滞りなく盛大裡に幕を閉じた。



総社祭終了後、高宮祭、第二宮・第三宮祭、宗像護国神社春季大祭の名称は、昨年まで福岡・玄海町の絵画教室が合同で名称もなかつていたこの作品展に、出品者たちが当大社の御神紋である「橘の葉」にちなんで名付けた。今後、毎年春秋に作品展を開催する。こうして二日間に亘る春季大祭は、生憎の天候であったが神人音楽のもと、滞りなく盛大裡に幕を閉じた。

「春分の日」の三月二十一日、「宗像玄海ウオーク」生きる水源「釣川」をたずねて」(主催)RKBラジオ、後援「宗像市・旧玄海町、協力「宗像大社」と題したウオーキング大会が開催された。

鞍手郡との境、宗像市吉留の山林中に源流をもち、朝町川・山田川・八並川・樽見川等の支流と合流し玄界灘へとそそぐ、延長十六キロの二級河川「釣川」。風光明媚な神郡宗像を育んできたこの釣川に沿って歩き、宗像の名所を巡るという「健康とスポーツ」をテーマにしたイベントである。当日は天候にも恵まれ、絶好のウオーキング日和となり、約千人が参加。午前九時にJR教育大学前駅をスタ



「春分の日」の三月二十一日、「宗像玄海ウオーク」生きる水源「釣川」をたずねて」(主催)RKBラジオ、後援「宗像市・旧玄海町、協力「宗像大社」と題したウオーキング大会が開催された。

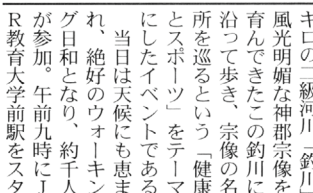
鞍手郡との境、宗像市吉留の山林中に源流をもち、朝町川・山田川・八並川・樽見川等の支流と合流し玄界灘へとそそぐ、延長十六キロの二級河川「釣川」。風光明媚な神郡宗像を育んできたこの釣川に沿って歩き、宗像の名所を巡るという「健康とスポーツ」をテーマにしたイベントである。当日は天候にも恵まれ、絶好のウオーキング日和となり、約千人が参加。午前九時にJR教育大学前駅をスタ



「釣川」をたずねて」に到着した。その後、アクセス玄海駐車場で協賛企業による食事会イベントが行われ、参加者は舌鼓を打った。

食後は当大社「折願殿」前に設置された特設ステージで、RKBラジオの、あべやすみ・仲谷一志両パーソナリテイによる「あべちゃんトシ坊トークショー」、特別ゲストとして来社された浅香唯さんの歌謡ショーが催され、参加者は夢中で聞き入っていた。

四月一日から始まる新宗像市にちなんでのイベントであったが、車で通るとの自らの足で巡るのとは見えてくるものが全く違う。参加者には、宗像市民にとつての母なる川「釣川」を中心に、宗像の歴史的・文化的名所を巡り、新宗像市を感じていただけたと思う。



「春分の日」の三月二十一日、「宗像玄海ウオーク」生きる水源「釣川」をたずねて」(主催)RKBラジオ、後援「宗像市・旧玄海町、協力「宗像大社」と題したウオーキング大会が開催された。

鞍手郡との境、宗像市吉留の山林中に源流をもち、朝町川・山田川・八並川・樽見川等の支流と合流し玄界灘へとそそぐ、延長十六キロの二級河川「釣川」。風光明媚な神郡宗像を育んできたこの釣川に沿って歩き、宗像の名所を巡るという「健康とスポーツ」をテーマにしたイベントである。当日は天候にも恵まれ、絶好のウオーキング日和となり、約千人が参加。午前九時にJR教育大学前駅をスタ

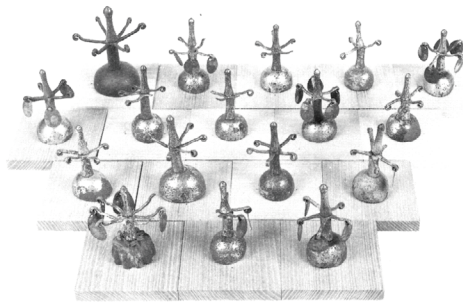


「春分の日」の三月二十一日、「宗像玄海ウオーク」生きる水源「釣川」をたずねて」(主催)RKBラジオ、後援「宗像市・旧玄海町、協力「宗像大社」と題したウオーキング大会が開催された。

鞍手郡との境、宗像市吉留の山林中に源流をもち、朝町川・山田川・八並川・樽見川等の支流と合流し玄界灘へとそそぐ、延長十六キロの二級河川「釣川」。風光明媚な神郡宗像を育んできたこの釣川に沿って歩き、宗像の名所を巡るという「健康とスポーツ」をテーマにしたイベントである。当日は天候にも恵まれ、絶好のウオーキング日和となり、約千人が参加。午前九時にJR教育大学前駅をスタ

当社御神宝が 国宝統合へ！

平成十三年度再発見品も追加指定



(国宝に追加指定された金銅雲珠)

見された未指定神宝のうち出土地が確定するものについても国宝へ追加される運びとなり、それに併せて、国宝指定の名称を「筑前国宗像神社津宮祭祀遺跡出土品」から「福岡県宗像大社津宮祭祀遺跡出土品」に変更することとなった。

当大社津宮の鎮座する沖ノ島では、昭和二十九年から昭和四十六年まで三次に亘り学術調査が行われ、二十三ヶ所の祭祀遺跡と共約十二万点に及ぶ神宝が発見された。

その後、一・二次調査出土品のうち出土地が明確なものについては、昭和二十九年から昭和四十六年まで三次に亘り学術調査が行われ、二十三ヶ所の祭祀遺跡と共約十二万点に及ぶ神宝が発見された。

この度、国宝統合された神宝以外のもの、つまり、学術調査以外に発見された神宝については、そのまま変わらず重文とされ、それらに、金庫より発見の未指定品のうち出土地が不確定のものも追加すると共に、名称を「筑前国宗像神社津宮祭祀遺跡出土品」から「福岡県宗像大社津宮祭祀遺跡出土品」に変更することとなった。

終了後、出土地が明確なものについては昭和五十三年に「筑前国宗像神社津宮祭祀遺跡出土品」として重文に指定され、それ以外については既に重文指定された一・二次調査のものに追加指定され昭和五十四年に重文指定となつている。現在、それらは当社神宝館にて保管、一部展示されている。

平成十五年三月二十日、国の文化審議会の答申により、当社の国宝指定の神宝と、重文指定の神宝のうち出土地の明確なもの(一・二次調査出土品のうち出土地が確定するもの)とが、国宝一件という形で統合された。これに伴い、平成十三年四月に当社にて保管の金庫より発見された神宝については、その後、調査照合をしたところ、一・二次調査出土品の一部であることが判明した。一・二次

調査後、四十数年もの間金庫の中で眠り続け、再発見されたこれらの神宝がこの度国宝・重文へ追加指定されたことは、これらが既指定の神宝と並び学術的価値が高く大変貴重な資料であると評価され、証明されたことを意味する。

沖ノ島の祭祀遺跡は主に津宮神社殿背後の巨岩群を中心に二十三ヶ所に及び、それらは四世紀後半から十世紀初頭にかけて行われた大和朝廷による大陸渡島に關する祭祀の跡であることが判つてい

以上の通り、沖ノ島の御神宝が、国宝二件、重文二件の指定から国宝一件・重文一件の指定になったことで、同一の祭祀遺跡からの発見品にも拘らず調査年次毎に別件指定を受けていたというこれまでの不自然な状態を解消することが出来たのである。

金庫から発見された神宝については、その後、調査照合をしたところ、一・二次調査出土品の一部であることが判明した。一・二次

決断力 その時昭和の経営者たちは

出光興産株式会社 出光 佐三 店主

「イラン石油を輸入」②

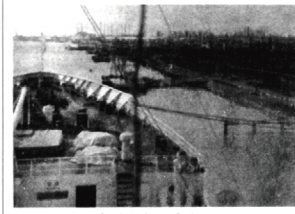
瀧口 凡夫

周到な準備

果敢の実行

これほど痛快なことがあるだろうか。敗戦、そして七年におよぶ占領。総司令部の指令は絶対のものであった。それから解放され、念願の講和条約発効からちょうど一年である。

日本国民の心には、連合国の中心的存在であった米、英両国にたいし、恐怖と対抗の入り交じった複雑な感情がある。たゞし、民族資本民族経営を貫く出光興産が虎の子の自産品日章丸を駆けて、国際石油資本と英国海軍の警戒網をくぐり抜け、アバダンの着いたのである。



1953年(昭和28年)4月10日 アバダン港に入港した日章丸2世

佐三は決断するまで、細心の注意を払いながら準備を進めた。出光に初められたのは、一九五二年(昭和二十七年)三月であった。出光計助専務(当時)が石橋正二郎(当時)と「英・イ両国の石油紛争には管轄権がない」として、英国の訴えを却下していった。

計助専務と手島治雄常務が、佐三の密命を帯びて羽田空港を飛び立ったのは十一月の初めだった。契約を締結したのは翌年の二月である。

商才にたけたイランとの交渉は厳しかったが、これを別とすれば最大の難関はタンカーだった。日本のある船会社は、日諾していた船の回航を、土壇場で断つてきた。

計助専務の報告を聞くと、佐三は即座に「それはいかん」と断つた。イランの石油国有化は国際的に認知され、いざ「出光の国際儀礼および商業道徳上の良心が許さなかつた」と、佐三はのちに支店長会で説明している。その後、別ルートでなんとか話が持ち込まれたが、考えは変わらなかった。イランからの輸入を決めたのは五二年九月

第五〇一回 宗像大社歌会詠草

大野 展 夫 選 毎月 25 日 夕 切

曲 天野 玲子 乘りてより降車するまで隣席の高校生は鏡をのぞく (評) この高校生は女子だろうか、男子だろうか、作品としては男の子が面白いのだが、ともあれ人知れずするべき鏡覗きを恥ずかし気もなく人目にさらしてする今の風潮を苦々しい思いで見ている作者の姿が見える

日の里 石松 弘次 尿意ありて急ぎ駆け込む老いのわれは気軽に脚上げ済ます (評) 加齢した人にとつては尿意の近いことは真実な悩み事であるが、犬を配することにより、一種のユーモアを生じ快い。父の歳越えて二十二年母まではあと十四年の八十となる (評) 不測とはイラク攻撃の経過や、枚挙にいとまない凶悪事件を指すのだろうか。そんな日常にあつて作者は、吉永小百合主演の人間味溢れる劇に心を癒やすのである。いささかのアイロニカル(皮肉)と哀感を織り交ぜた一首。

朝野 藤井 浩子 青々と丸葱生ふるを車窓より見つつ駆け足の寺社巡りなす (評) 丸葱とあはれから京都の神社仏閣巡りだろうか、日程の決つていく慌しい旅がうらめしく思う気が「巡りなす」の「なす」にこめられている

日の里 大和美由紀 史跡野の浅き流れににふわふわと蛙の卵は孵化を待ちをり

田野 森 甲子 菜の花の咲満ち民話の里広し懐き香を思ひきり吸ふ 神 湊 中山 千鶴 友はいま四國を巡る旅最中われも歩まん菜の花の道 池田 森 龍子 梅の木に朝の日の影が宿り万華鏡のごとくかがやく 大島 越智 治子 宮森の赤き櫛の密を吸ふ鴨たちもやがて去らんか 八幡東区 永田久美子 春浅き日暮のベンチのホームレス湯気面に輪ゆれつつ食べをり 池田 小田 イセ 荒畑にすくくと立ちし黄水仙われを待つがに蕾をもたぐ 津屋崎 佐々木和彦 立山の空澄みてをり大鷹は雷鳥捕ると今も飛ばんか 光岡 森田富佐子 急病にたをれし友を気付けて見舞いにいけば仕事しており 日の里 佐藤 純一 睦月今日師からの文を読み返し啄木をよむ淡淡として 福岡 池浦千鶴子 颯比の喫茶店より見下しぬ列車つきたび広場さわか

宗像大社歌会
俳句作品集 四七六

光岡 井上 嘉治
水仙の影白々と過疎
の村

福岡 森 清
戻り寒田の濁り水大
飲めり

東郷 田中 憲象
春潮のまなこ耀く沖
ノ島

日の里 花田いつ枝
菜の花に染まりて曲
るローカル車

東郷 吉武 湧泉
宰相に巫女献上す梅
の鉢

東郷 吉田 杏子
薄れゆく視力すべな
し春は来ぬ

東郷 三浦美千代
春鶯に物言はず立つ
天守閣

東郷 田中 雨葉
釣人も小島も包む遠
霞

東郷 木原 房子
反戦の輪のひろがり
や春めさぬ

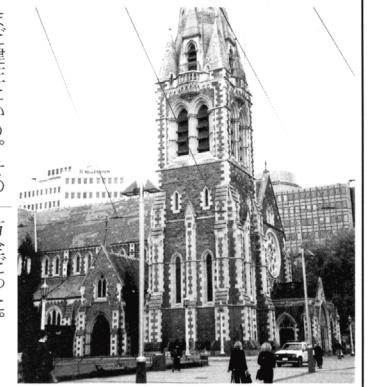
光岡 白土 凌一
光あり春もあたりぬ
吾が心



(続) 浜の寄物

いしい ただし

175



クライストチャーチ大聖堂

三月末、ニューヨークランド(以下N.Z.)を旅してきた。アメリカがイラク戦争に突入りた三日後だった。テロを警戒して中止になるかも知れないと心配していたが、ゴードット。計画はイラク戦争前だったので行くより仕方がない。二三日、午後五時二〇分刻に福岡空港発、関西空港で乗り替え、出発時間から一時間遅れてフライト、南島からいストチャー空港まで。二時間の旅である。イラク戦争が影響してか、関空の国際線は乗客も空席が目立った。今回の旅行目的は、N.Z.の留学生の紹介をしている大上隆氏が、所用もかねて行くというので同行させてもらった。それに私もN.Z.の先住民マオリの文化に興味もあり、海外旅行を経験した人が、N.Z.が一番よかったと聞いていたからである。他に大上氏の大学生の息子、大上氏と高校

の同級生の武田美保子さんと大学生の娘、院生の息子の計六名である。武田さんにはルートツを訪ねるという目標がある。親族にあたる人が五島宇久島出身で、明治のころ、アメリカの船員となり、世界の海へ、その船がN.Z.の南島タニーデンに漂着、その後N.Z.に住み、現地の女性と結婚しての日本人男子である。その日本人を男木、東郷、伊藤の名をつけそのうち乃木氏はまだ健在という。その乃木氏と子供達を訪ねるといふものである。N.Z.は気候が日本の逆で、これから冬に入るの余分にセーターなど持って行けばいいのではないかと、大上氏の話だったが、寒がりの私はジャンパーや冬物衣類、貼るカイロもいれて寒さ対策は万全だった。翌九時ごろクライストチャーチ空港に着いた。快晴、澄んだ空気が、明るい日差し。歩いている人はシャツ、若い女性はヘソ出しの夏の衣類である。ジャンパー姿の私はどっと汗がふき出た。車ですずか木造のビルへ、満酒な木造の建

話題の新車紹介 (32) スズキ「ツイン」

欧州に旅行されたことがある方ならご存知だと思いますが、ニシターの「スマート(MCC)」の先れ行きがものすごく、主要都市の「見えるところ」に一台はあるという位よく見かけました。日本でもたまに見かけ、こんな小さくて大丈夫かと思うほど小さいです。だがそこはメルセデス製、その安

全性・剛性はアウトバーン(ドイッの速度制限なしの道路)を走ることを前提にしているだけあって、普通車に乗っていて軽自動車に乗ると安全性に不安を抱いてしまいがリッター二六



しつかりしているようです。そこで日本のスズキも同じコンセプトで「ツイン」を発売しました。1、サイズ 全長はわずか二七三

五ミリと普通車の半分程度の長さしかありません。現在の軽自動車規格ギリギリまで大きくするのとは対照的に、出来るだけ小さく追求しました。となると曲がる・パルク・縦列駐車・車庫入れがとて

2、安全性 普通車に乗っていて軽自動車に乗ると安全性に不安を抱いてしまいがリッター二六

3、エンジン エンジンはガソリンと軽では初のハイブリット(簡単にいうとモーターを付けて出力・燃費の向上を計った車)を用意し

4、燃費 気になる燃費は「ガソリン」がリッター二六



葦木神社本殿

物だった。ホテルの主人は黒ネコだった。案内のパンフにもちゃんと写っていた。イスの上で寝ていた。クライストチャーチはN.Z.では三番目の大きな都市で、人口約三〇万、南島では最大という。庭園都市の名もあり、花と樹木もたっぷり、落着いた雰囲気。街全体を包んでいて、町の中心部に大聖堂がある。一八六四年着工し、四〇年の歳月をかけてつくられたゴシック様式の重厚な建物に圧倒される。路面電車も走っている。ホテルからカンタベリー博物館にまず足を運んだ。旅はまず歴史から。なつています。ガソリンAは何も付いてない(エアバックは付いてます)営業車と考えてください。そんなに安くはありませんが、取り回しと、ランニングコストを考えるとお得です。ちなみにMCCの「スマート」(外車)は一三一万円です。車を人間の移動だけと考えるのであれば、これ以上の低コストの車はありません。曲がりくねった細い道ばかりの田舎道を走る、あるいは運転に自身のない方なら最適です。 宗像大社から西北方面に約三百メートルの小高い丘、邊津宮鎮座の田島と隣接する宗像市牟田尻木戸ノ内に鎮座し、深田区の産土神である葦木神社。現在の御祭神は、稚産靈命・倉稻魂命・保食神・水府神・住吉三神とされており、住吉三神は田子浦の丹後神社、水府神・水波荒神は牟田の雨守神社、祭神不詳の井手浦の神崎神社をそれぞれ大正四年に合祀したものである。御縁起に百八社の一つとして「葦木明神」、同高宮下符社のうちに「葦木明神」と見え、正平年中行事や延寶末社帳の中にも記述がある。 続風土記附録 宗像上の牟田尻キドの條に、「葦木大明神社、村の南にあり。産神なり。祭る所、瓊々杵尊・稻倉魂命なり」とあり、また、同拾遺 十八同村の條には、「葦木神社の南、木戸内と云所に在。産神也。所祭、稚産靈命・倉稻魂命・保食神、いつも石鉢也。宗像七十五社の一也」とある。 正平(一三四〇)一三四六)年中鎮座の由

神郡宗像 末社めぐり

来が宗像大宮司氏郷の年中行事及び後堀河院の寛喜の繪巻に見え、境内に組合石棺二基が、社後にあり、朝廷より太刀を納められたという言い伝えがある。また、葦木神社の拝殿で執り行われる御座も盛大で、夜には角力で賑わい、遠く遠賀、鞍手からの力自慢の若者の参加者も多く、郡内では有名な祭事であったが、農業の機械化により祭事の規模が次第に縮小していった。しかし、今でも境内には牛馬の石像や相撲場が残されており、信仰の篤さは伺い知ることが出来る。 深田区民の手により、石段から本殿・拝殿、境内社にいたるまで、神苑は整備されており、現在でも美しい古社である。



葦木神社拝殿と写真右は徳満神社